

奄美群島における サンゴ礁保全対策



©Amami City

奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

1.奄美群島のサンゴ礁

奄美群島は北緯27～29度に位置し、海岸の大部分でサンゴ礁が発達しており、群島全体でその面積は5951.2ha、約220種の造礁サンゴが分布しています。

サンゴ礁は、観光資源として最も魅力的なものの一つであり、また、サンゴ礁では昔から漁業が営まれ、人々の生活の糧となっていました。さらにサンゴ礁は自然の防波堤として、台風襲来の多いこの地域を高波などから守る防災的役割も果たしており、人々の生活にとってとても大切なものです。

しかしながらサンゴ礁を取り巻く状況は、著しく変化しました。温暖化等による大規模な白化現象や陸上からの赤土の流入、オニヒトデの大量発生などにより、群島内全域でほとんどのサンゴ礁が被害を受けました。




奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

2.最初の取り組み

奄美群島では、オニヒトデの大量発生や大規模なサンゴの白化現象によりサンゴは大きな被害を受けました。

そこで、直接対策を講じることのできるオニヒトデに対して、奄美群島海中公園の指定を受けている5市町（名瀬市、笠利町、瀬戸内町、徳之島町、与論町）で構成する奄美群島海中公園海中資源保護協議会を設立し、オニヒトデの駆除対策を進めてきました。

昭和48年から平成15年の間に、4億4千万円以上の事業費を投じ、160万匹ものオニヒトデを駆除してきましたが、いずれもオニヒトデの被害を食い止めることはできませんでした。





奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

3.サンゴ礁保全対策協議会の設立

このような状況において、これまで通りのオニヒトデ駆除対策では、サンゴ礁を守ることは出来ないのではないかと結論に達しました。

また、奄美群島を含む琉球列島が、世界自然遺産の候補地となるなど、地元の取り組みの重要性が益々高まってきました。

このことから、奄美群島全体が協力してサンゴ礁保全に取り組むことを目的に、平成16年に奄美群島14市町村で構成する「奄美群島サンゴ礁保全対策協議会」を設立しました。

平成18年、名瀬市、住用村、笠利町が合併し奄美市となったため、現在は12市町村で構成されています。事務局は、奄美市の環境対策課内にあります。




奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

4. サンゴ礁保全対策協議会の取り組み

○オニヒトデ駆除

地元ダイバーや漁業関係者の意見を参考にサンゴ被度が低い海域を、市町村ごとに重点保護海域として選定し、集中的・継続的に駆除しています。

サンゴ礁保全対策事業(市町村別オニヒトデ駆除数)

市町村名	年度																	H31.3月末現在	
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計				
奄美市	—	5,177	4,821	944	137	84	86	42	140	73	15	4	0	0	11,523				
(旧名瀬市)	140	5,177	3,015	10	0	46	38	6	100	49	2	0	0	0	8,583				
(旧住用村)	0	0	305	171	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	496				
(旧登利町)	778	0	1,501	763	117	38	48	36	40	24	13	4	0	0	3,363				
大和村	0	6,457	1,149	631	5	2	2	5	2	7	11	0	0	0	8,261				
平後村	80	503	368	447	2	23	18	8	22	11	12	4	9	4	1,511				
瀬戸内町	9,266	1,574	238	195	164	212	201	45	75	111	89	66	39	17	12,292				
龍郷町	0	309	4,621	173	1	3	4	10	18	50	33	16	4	8	5,250				
喜界町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	5				
徳之島町	764	744	379	146	64	45	65	57	60	84	78	70	26	40	2,622				
天城町	20	67	67	24	3	2	2	0	2	0	0	0	0	0	187				
伊仙町	525	438	375	135	49	37	42	25	28	28	30	33	26	18	1,789				
和泊町	448	252	74	56	22	31	36	105	172	105	134	164	187	26	1,812				
知名町	180	388	139	123	13	6	7	4	9	11	4	7	1	1	893				
与論町	304	67	42	81	103	86	491	375	351	1,156	36	1	1	0	3,094				
計	12,506	15,977	12,273	2,955	563	531	954	676	879	1,637	435	365	293	114	50,158				

・H17からは重点海域を設定し、奄美群島復興開発事業により実施。
 ・瀬戸内町のH16～H19は、特定難島ふるさとおこし事業で実施。
 ・喜界町は、オニヒトデ駆除を実施していない。(駆除数はモニタリングの際に駆除した数)

奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

4. サンゴ礁保全対策協議会の取り組み

○サンゴ礁モニタリング調査

平成17年度から、重点保護海域における集中的なオニヒトデ駆除と並行して、奄美群島内41海域(重点保護海域の18箇所を含む)にモニタリング地点を設定してサンゴの生育状況、オニヒトデの発生状況、その他サンゴにダメージを与える要因などについてモニタリング調査を行っています。何か異変があった場合には早急に対策を講じることでサンゴ礁の保全に努めます。

モニタリング箇所数			
奄美大島	奄美市	37	
	大和村	19	
	宇検村	9	
	瀬戸内町	4	
	龍郷町	12	
喜界島	3	喜界町	3
徳之島	徳之島町	2	
	天城町	2	
	伊仙町	3	
沖永良部島	7	和泊町	4
与論島	知名町	3	
	与論町	6	
合計	104		



奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

4. サンゴ礁保全対策協議会の取り組み

○サンゴ再生に係る調査研究

サンゴの被度が低い箇所へ着床具を設置し、着生した幼生をある程度成長させ、その後、着床具を被度の低い箇所へ移植し、サンゴ礁再生の可能性を調査します。



着床具の設置状況



移植後の着床具

奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

4. サンゴ礁保全対策協議会の取り組み

○サンゴ礁モニタリング講習会の開催

奄美群島におけるモニタリング調査手法の統一を図るため、講習会を開催しています。協議会では、スポットチェック方によりサンゴ被度及びオニヒトデ数(15分間換算)を調べています。



講習会



実地研修

奄美群島サンゴ礁保全対策協議会

4. サンゴ礁保全対策協議会の取り組み

○サンゴ礁シンポジウムの開催

奄美群島におけるサンゴ礁保全の取組みを広く周知し、保全意識の啓発を図るために、平成20年度から奄美群島サンゴ礁シンポジウムを開催しています（隔年開催）。令和2年度は瀬戸内町で開催予定。



2014シンポジウムin鹿児島市



2016シンポジウムin徳之島町



©Amami City

どうもありがとうございました。